

報道関係者各位

2019年5月8日
株式会社アマナ

宇禄「かさね」写真展

～ 自然への畏敬の念と共に宇禄が贈る、はかなくも力強い花の写真展 ～

さまざまなビジュアルコミュニケーション事業を展開する株式会社アマナ(本社:東京都品川区、代表取締役社長 進藤博信、以下「アマナ」)は、2019年5月10日(金)から6月7日(金)の間、アマナ専属フォトグラファー 宇禄(UROKU)の写真展「かさね」を開催します。



作品名 『かさね』(2018)

一輪の花が蕾から咲いて枯れるまで、約1週間、長時間露光という方法で撮影

▼写真展「かさね」概要

<http://www.yellowcorner.jp/news/190426.html>

- 会期 : 2019年5月10日(金)～6月7日(金)
時間 : 12:00～19:00 ※5/11(土)13:00～18:00、6/7(金) 12:00～18:00 迄)
定休日 : 土・日曜、祝日、5/16(木)
会場 : ICS (住所:〒106-0032 港区六本木 5-17-1 AXISビル 3F) ※イエローコーナーショールーム併設
<https://amana.jp/company/shops-galleries/yki.html>
入場料 : 無料
問合せ : TEL/ 03-5572-7144、E-Mail/ yellowcorner@amana.jp
主催 : (株)アマナ
企画・協力: (株)イエローコーナージャパン(<http://www.yellowcorner.jp/>)、FLAT LABO
(<https://flatlabo.com/>)

▼作家ステートメント

- 時の累に命はやがて土へ還り、土の壘は繁栄と色をもたらす
色の襲が小さな命を宿し、海と重なり新しい時を生む-

「花や植物は、写真を学び始めた頃から撮ってきたモチーフ」と語る宇禄にとって、とりわけ花は、命を象徴するもの。撮る花の種類は決めていない。気に入った花を花屋で一輪買って、家で撮影する。命を表現する方法として花を写し、花そのものが命を表す。花が咲き、枯れるまでが命の営みであり、一連の時の経過が「かさね」となる。命を最後まで追い、撮り続けていくことで、命の重なり、時の重ね、また色の重ねを表現する。

本展では、アマナ専属フォトグラファー 宇禄が今回の展示のために撮り下ろした作品を含む、アートワークとしての花の写真 20 点以上を展示します。展示は「累」、「壘」、「襲」、「重」の 4 部構成になっており、本展のタイトルでもある様々な「かさね」からインスピレーションを得て生まれた美しい花は、自然と寄り添いながら生を受けて死に、また新たな命へと受け継いでいく人の一生を表しています。宇禄にとって「撮ること」は日常であり、ライフスタイルそのもの。そんな宇禄の自然への畏敬を持ち合わせた、はかなくも力強い作品をお楽しみください。

▼宇禄(UROKU) 略歴

1981 年 沖縄県生まれ。2002 年 (株)アマナ入社。2017 年、「写真」の力を世の中に発信するクリエイティブブランド“NAGAYA”として活動開始。2009 年「広告電通賞／セールスプロモーション広告電通賞(第一部門最優秀賞)」のほか、様々な広告賞を受賞している。

<http://nagaya-photo.jp/>



～「ビジュアルコミュニケーションで世界を豊かにする。」アマナは今年、40 周年を迎えました～

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ コーポレートコミュニケーション室 担当:高柳/住永

TEL:03-3740-3500 MAIL:pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代 表 者 : 代表取締役社長 進藤博信
所 在 地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 : 1979 年 4 月
資 本 金 : 10 億 9,714 万円
証 券 コード : 東証マザーズ 2402
売 上 高 : (連結)222 億 90 百万円 ※2018 年度 12 月期実績
従 業 員 数 : (連結)1,022 名 ※2019 年 1 月 1 日現在
事 業 内 容 : ビジュアルコミュニケーション事業
U R L : <https://amana.jp/>